



## 交通安全教室

17日(水)交通安全教室を開催しました。佐賀県警と唐津警察署から2名のおまわりさんに来ていただき、自転車シュミレーターという最新の機器を用いて、自転車を安全に運転するときの注意点を分かりやすく解説していただきました。生徒も含めて私たちは歩行者のときもあれば運転者のときもあります。被害に遭わないこと、加害者にならないことが求められます。私たちの身の回りには様々な「潜在危険」があることを認識しましょう。

以下、新聞記事からの紹介です。『当時小学校5年生だった少年(15)が乗った自転車と歩行者との衝突事故をめぐる損害賠償訴訟で、神戸地裁は少年の母親(40)に約9500万円という高額賠償を命じた。5年近く前に被害に遭った女性(67)は、事故の影響で今も寝たきりで意識が戻らない状態が続いているだけに、専門家は高額賠償を「妥当」と評価する。』



## 泣いた赤鬼のお話

24日(水)の全校朝会で、浜田廣介作「泣いた赤鬼」と安部浩之創作「続泣いた赤鬼」のあらすじの読み聞かせをしました。以下あらすじの要約です。是非ご家庭で感想を話し合われてみてください。

人間と仲良くなりたい赤鬼でしたが、村の人たちは警戒して一人として近寄ろうとはしません。それを聞いた親友の青鬼が一計を案じてくれました。それは村で暴れる青鬼を赤鬼が取り押さえ、人間から信用を得ようとするものでした。赤鬼は躊躇しながらもその言葉に従いました。

やがて安心した村人たちは競って赤鬼の家を訪れるようになりました。けれども青鬼はそれ以来一度も訪ねてきません。「君と付き合いを続けていけば、人間は君を疑うことがないとも限りません。」心配して訪ねていった赤鬼は、誰もいない青鬼の家の戸口にこの張り紙を見つけました。それはこう括られていました。「どこまでも君の友達 青鬼」。赤鬼は涙をながして泣きました。

雲の上からすべてを見ていた鬼の大將黒鬼は見かねて、赤鬼を青鬼に会わせました。赤鬼はげっそりやせた青鬼の姿を見て、「ありがとう、ごめんね。ありがとう、ごめんね。」と繰り返すばかりでした。青鬼は言いました。「違うよ、違うよ、赤鬼くん、鬼はね、いつも人間をおどかさばかりで、鬼と人間は敵だったろう？だからね、人間と仲良くしたいという赤鬼くんの気持ちを、僕はスゴイと思ったんだ。だから、僕こそ、本当に「ありがとう」なんだ。」

次の日、赤鬼は集まってくれた人間に、隠すことなく正直に全てを話しました。その話を聞いて人間は、しばらく黙り込んでいましたが、ついに、ある言葉が出ました。「だましてたんだね」それから堰を切ったようにいろんな言葉が出ました。「芝居を演じたズルい鬼」「これまでの優しさも芝居だったのか」「青鬼がかわいそうだ」「いや、青鬼は馬鹿だ」「しょせん鬼は鬼だ」赤鬼は何も言えず、ただしくしくと涙を流すのでした。しかしそれでも、人間の言葉が止まることはありませんでした。

その時、突風と共に黒鬼が現れました。そして、ひとり言のように人間に問いかけました。「青鬼は、友だちの願いを叶えるために犠牲になったよ。優しい鬼だ。友だちが欲しくて寂しがり屋の赤鬼は、人間にあらん限りのふるまいをして、青鬼の優しさを知って、謝り、全てを打ち明けたよ。優しい鬼だ。でも、でも一体、君たち人間の優しさはどこにあるのだろう？」

## 超大型 10 連休突入！



始業式から3週間が経過し、1年生も部活動に正式入部、それぞれが新しい環境に適応しつつある中、明日から超大型10連休に突入します。リフレッシュしつつも、生活リズムを崩さずに、連休明けにまた元気な笑顔で学校に戻ってくれることを願っています。ご家庭での見守りよろしくお願いたします。

※学校便りや各種通信にお子様の写真や名前の掲載を希望されない方は校長までご連絡下さい。